

名護沖大型魚礁調査

1. 調査概要

(1) 調査年月日

第1次 昭和50年3月1日

第2次 昭和51年8月31日～9月2日

(2) 調査方法

設置状況調査………レーダー、山立ておよび魚群探知機で魚礁設置場所を確認の上ブイを投入し、そのブイを中心として放射状に16方位に毎分123mの速さで航走し魚探により調査した。

漁獲試験………底延縄を使って朝縄、夕縄に分けて魚礁を中心にS字型に投縄した。その結果は表1のとおりである。

(3) 調査機器類

レーダー

魚群探知機………光電製作所 SR-660 TRPE 12 (28 KC)

底延縄………第1次 2鉢 (1鉢に釣針28本、23号 枝間5m)

第2次 2鉢 (1鉢に釣針100本 21～23号、枝間4m)

(4) 調査船舶

くろしお (21.44トンD 100馬力) 比嘉幸一船長以下7人の乗組員

2. 調査の結果

1図で魚礁設置位置と山立て図、2図で魚礁配置形態模式図、3図で主要断面の魚探記録例、1表で漁獲試験結果を示した。

(1) 設置場所及び山立て方法

a 設置場所………武瀬名崎より真方位17度、2,700m

$lat\ 26^{\circ}-33'-48''\ N$ $long\ 127^{\circ}-56'-40''\ E$

b 山立て方法………① 武瀬名崎の海中展望台と名嘉真の先の離れ岩 (沖側) とを結んだ線

② 名嘉真岳山頂と屋部の琉球セメント工場 (最高) とを結んだ線

(2) 設置時期 昭和46年度

(3) 設置個数 コンクリートブロック 1.5m角 1,235個

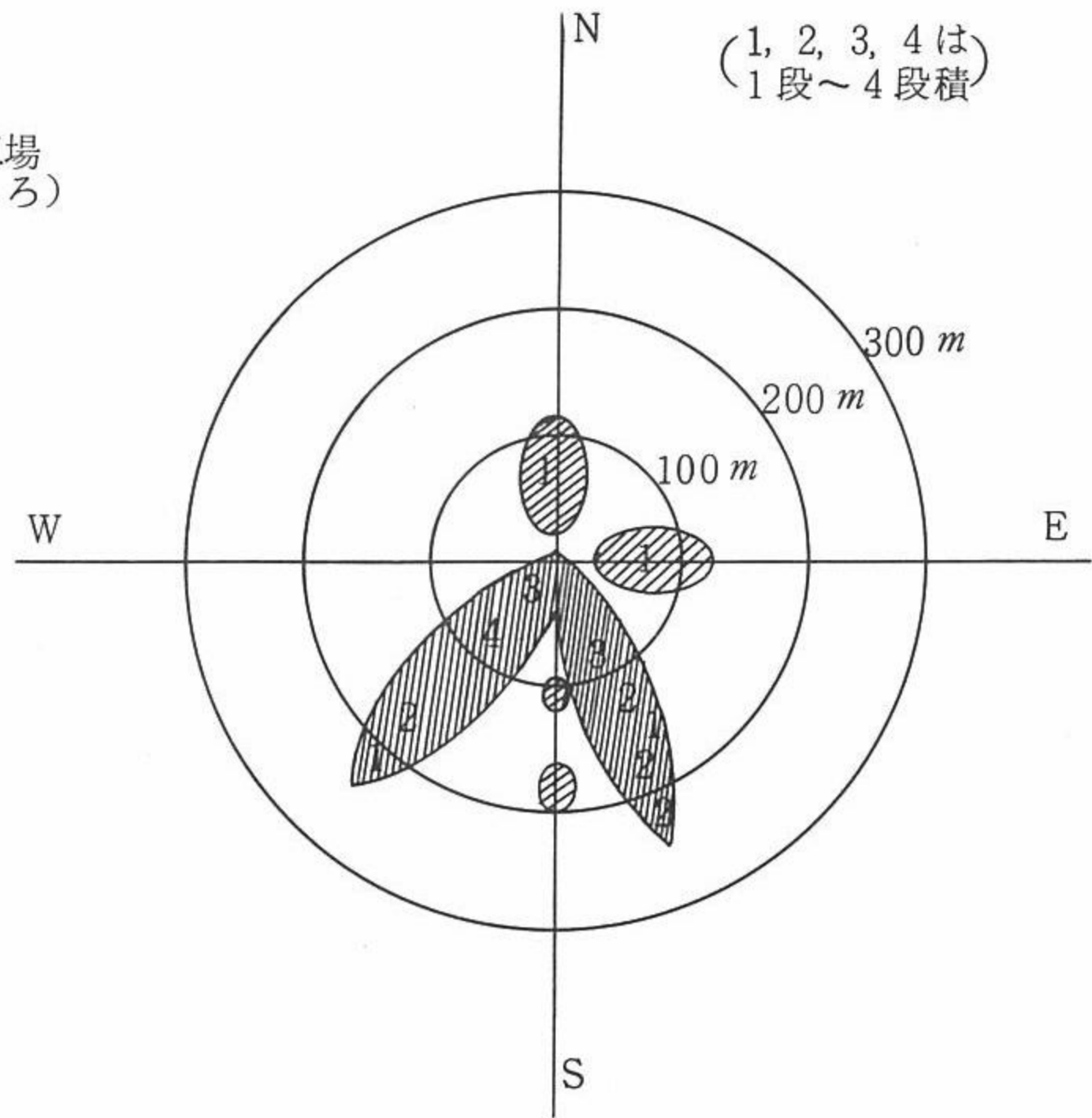
(4) 設置形態 武瀬名崎に向って広がる形で3段～4段のが200mに広がっているところもあり丘状をなしている。

(5) 漁獲試験 ハタ類が9尾、ヒラアジ類5尾、ムロ8尾、フエフキダイ類その他となり、約100kgの赤海亀も釣獲された。魚種は16種を数える。釣獲率は7.5%～17.9%であった。主要魚種写真を別に示す。

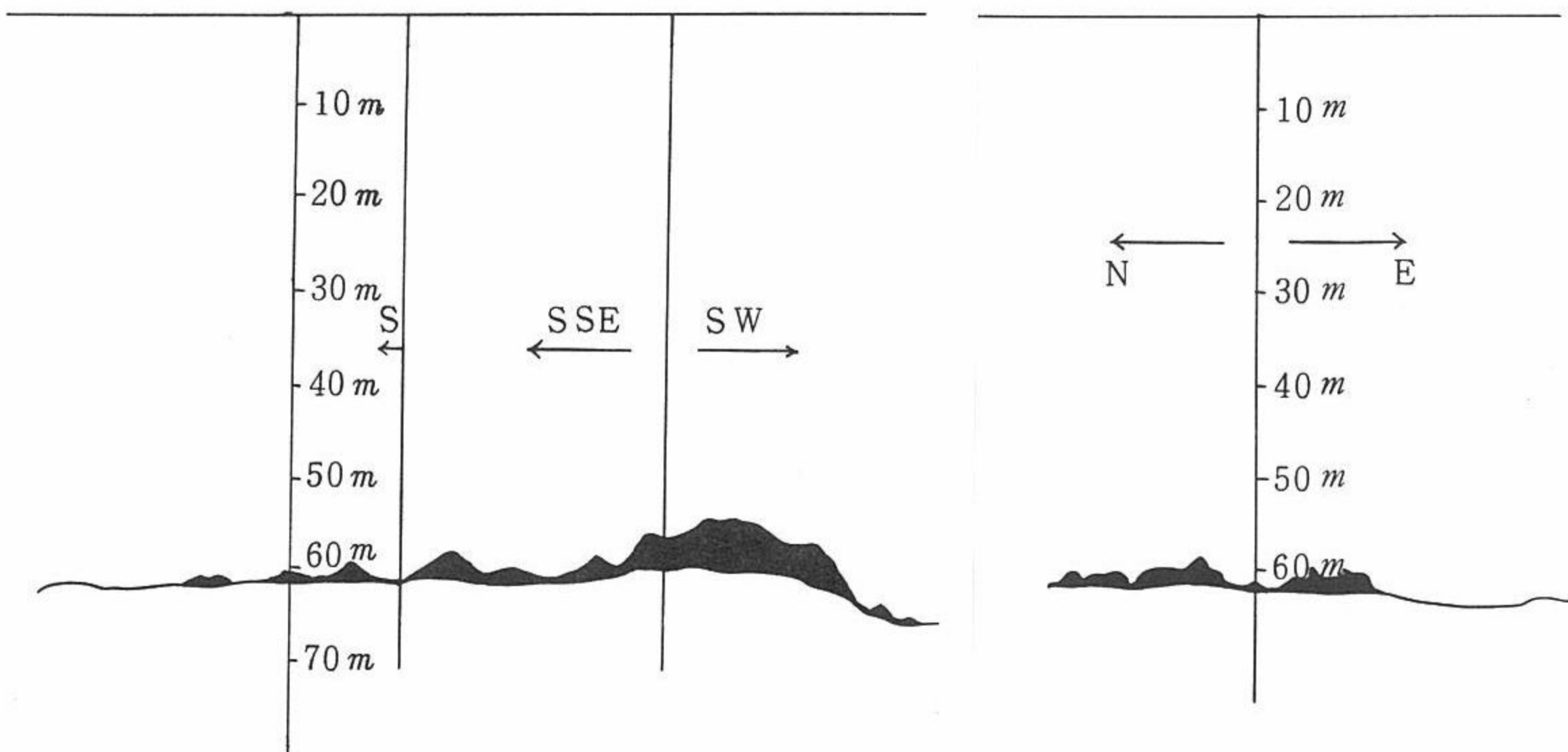
1 図 魚礁の位置と山立て



2 図 魚礁配置形態模式図

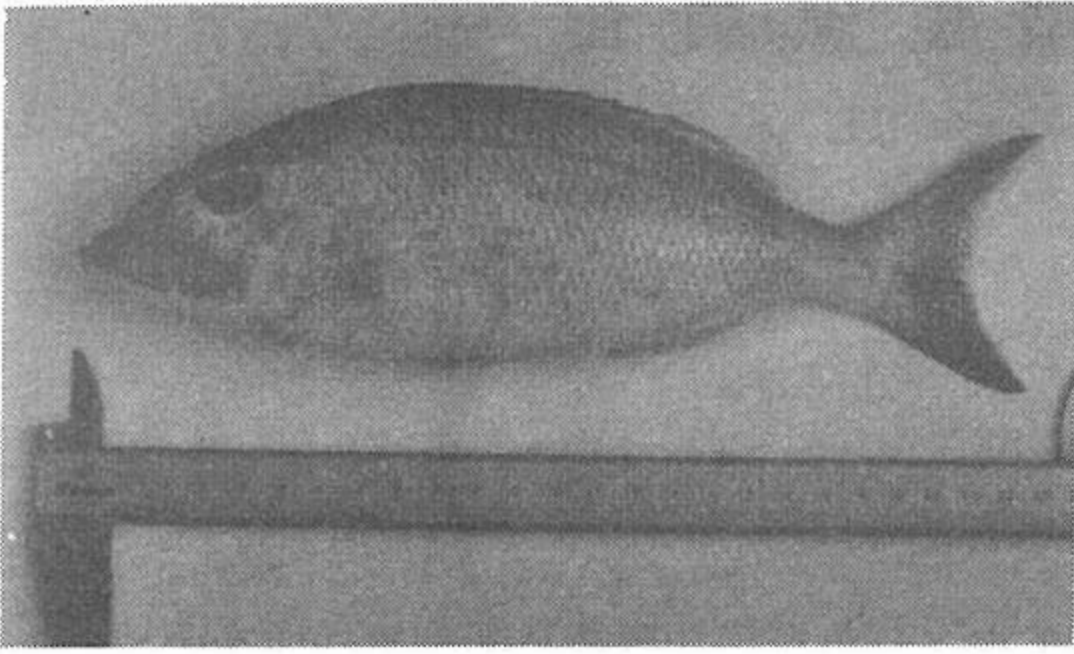


3 図 主要断面 (魚探記録)

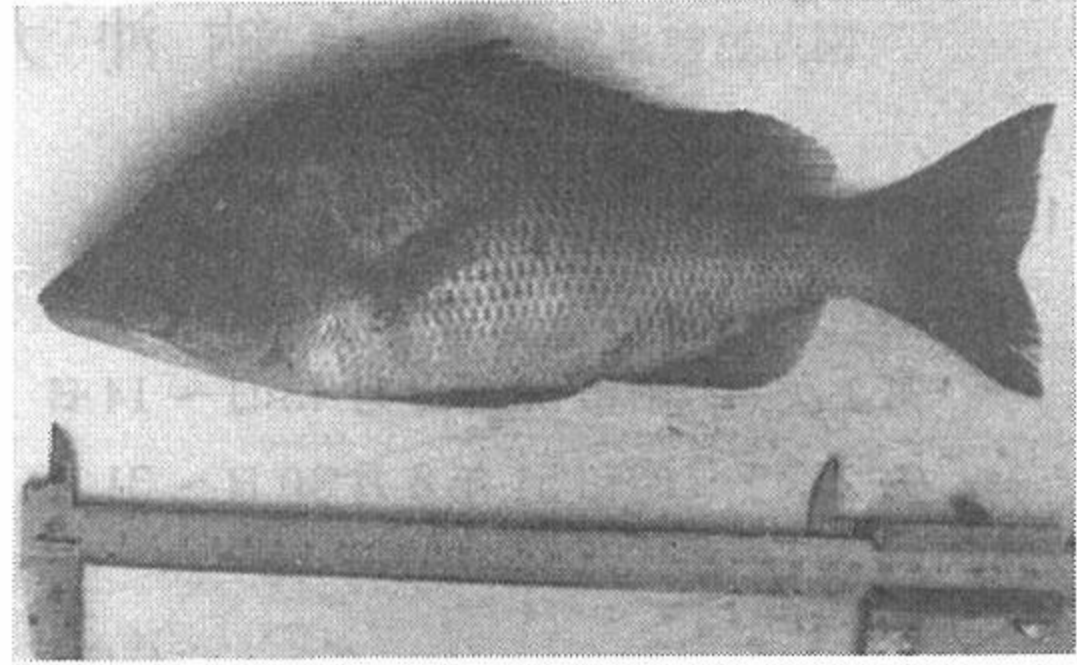


1 表 漁獲試験結果

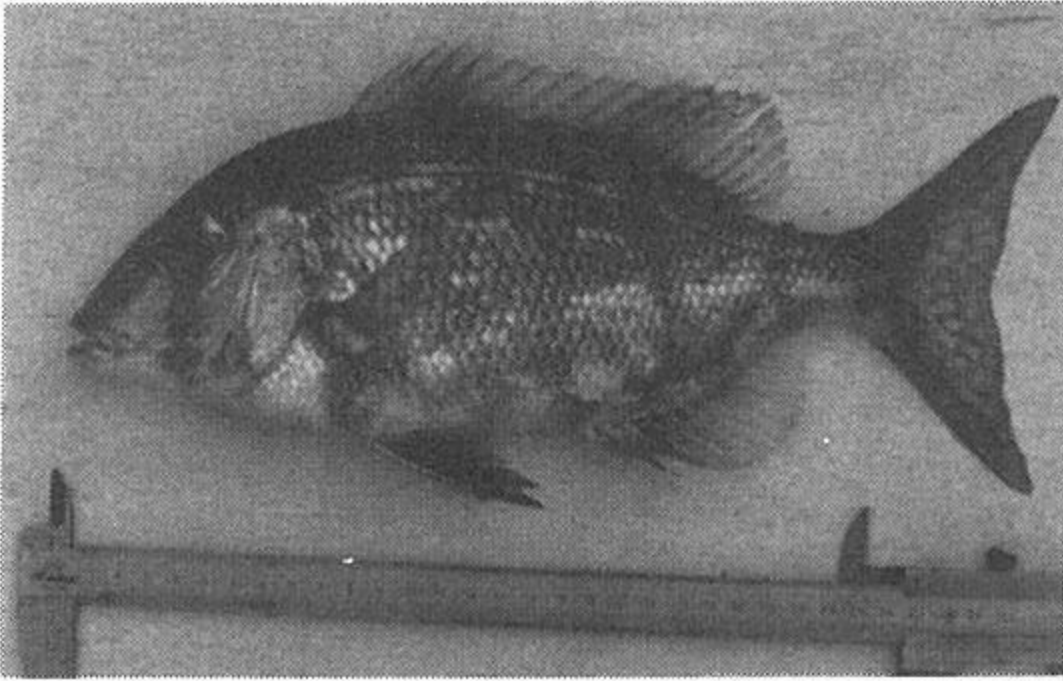
調査年月日	50. 3. 1	51. 8. 31	51. 9. 1	51. 9. 2	
調査船舶	「くろしお」 21.44、100HP	”	”	”	
調査員	久 貝 一 成	”	”	”	
調査回数	1	1	2	1	
調査漁具	底延縄 2鉢 釣針56本、23号	2鉢 釣針 100 本	2 鉢 200 本	1 鉢 100 本	
釣 獲 率	17.9 %	8 %	7.5 %	11 %	
漁 獲 量	7,090 g + 100 kg	4,560 g	12,310 g	9,570 g	
尾 数	9 + 1	8	15	11	
漁 獲 物	ヒ ラ ア ジ	1 (950 g)		2 (2,250 g)	
	エ ソ	1 (40 g)			
	ム ロ	3 (920 g)	2 (590 g)	1 (290 g)	2 (610 g)
	海 亀	1 約100 kg			
	アマミフエフキ	1 (390 g)		1 (530 g)	1 (660 g)
	オオモンハタ	3 (4,790 g)	1 (1,250 g)	1 (1,300 g)	
	メイチダイ		1 (590 g)	1 (600 g)	2 (720 g)
	シロダイ		1 (510 g)	2 (1,570 g)	
	ホウセキ キントキダイ		1 (310 g)	2 (590 g)	
	ホオアカクチビ		1 (590 g)	1 (510 g)	2 (1,060 g)
	アカハタ		1 (720 g)		2 (820 g)
	ヒブダイ			1 (2,000 g)	
	イサキ科			1 (490 g)	
	コバンザメ			1 (1,100 g)	
	ロニンアジ			1 (1,080 g)	
	マハタ				1 (2,300 g)
	カイワリ				1 (3,400 g)



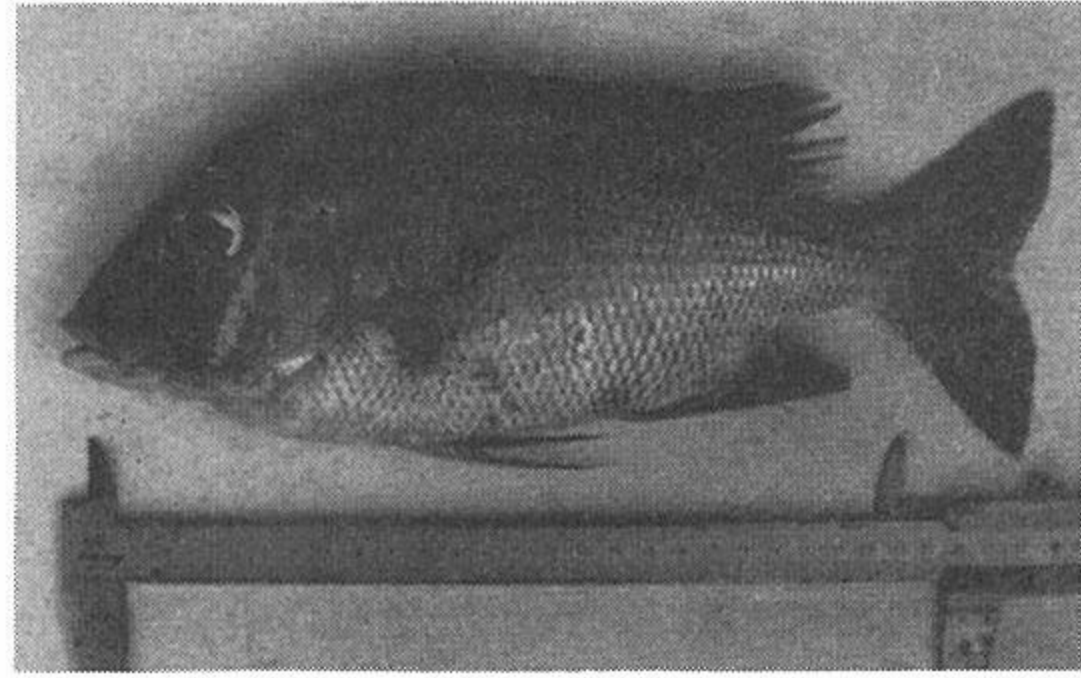
ホオアカクチビ



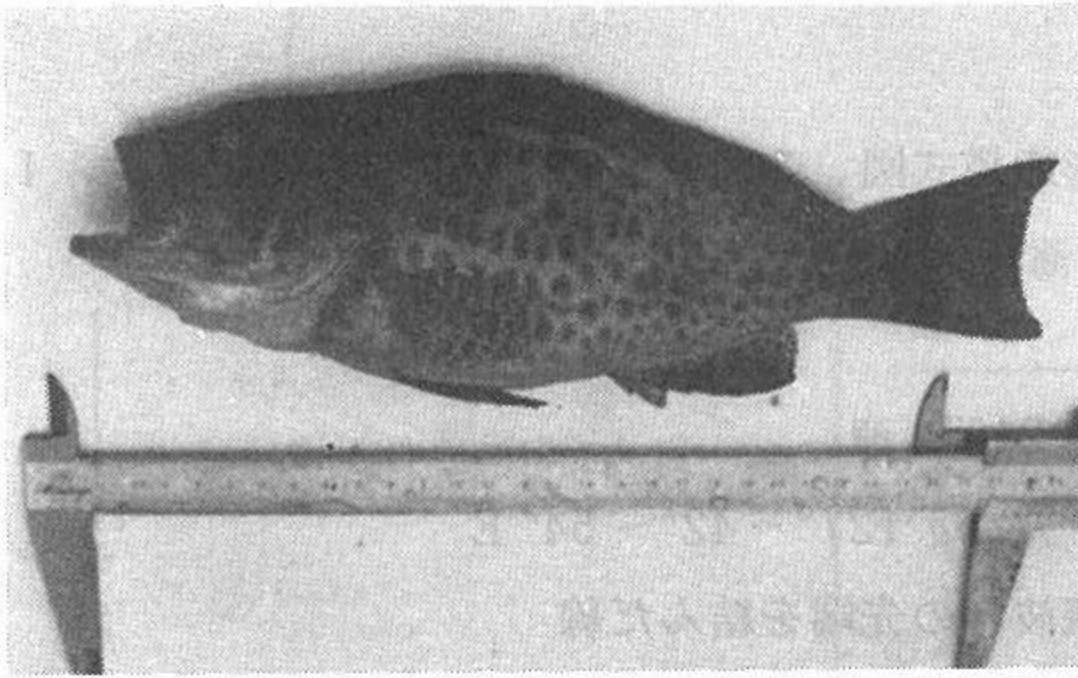
アマミフエフキ



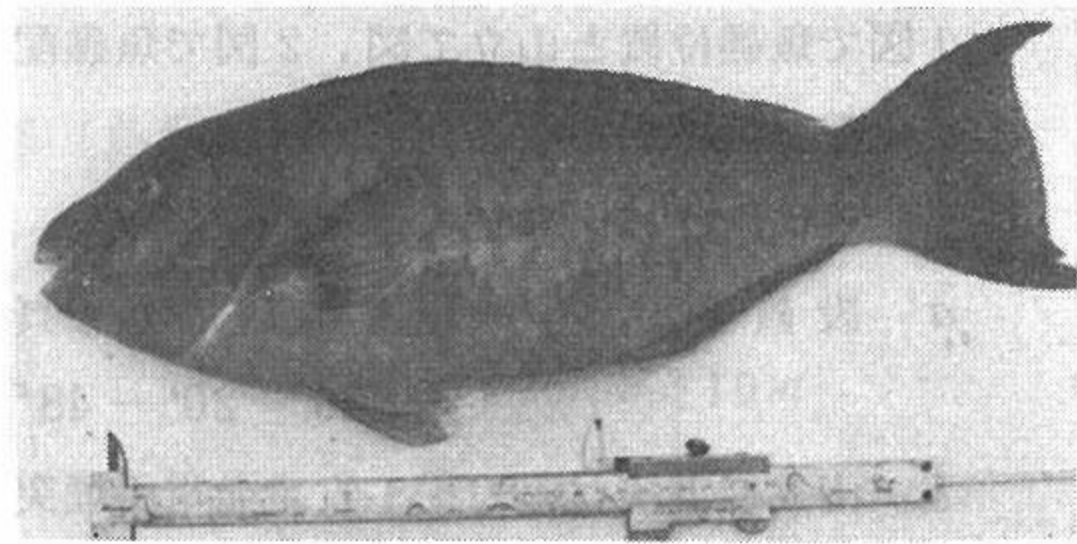
メイチダイ



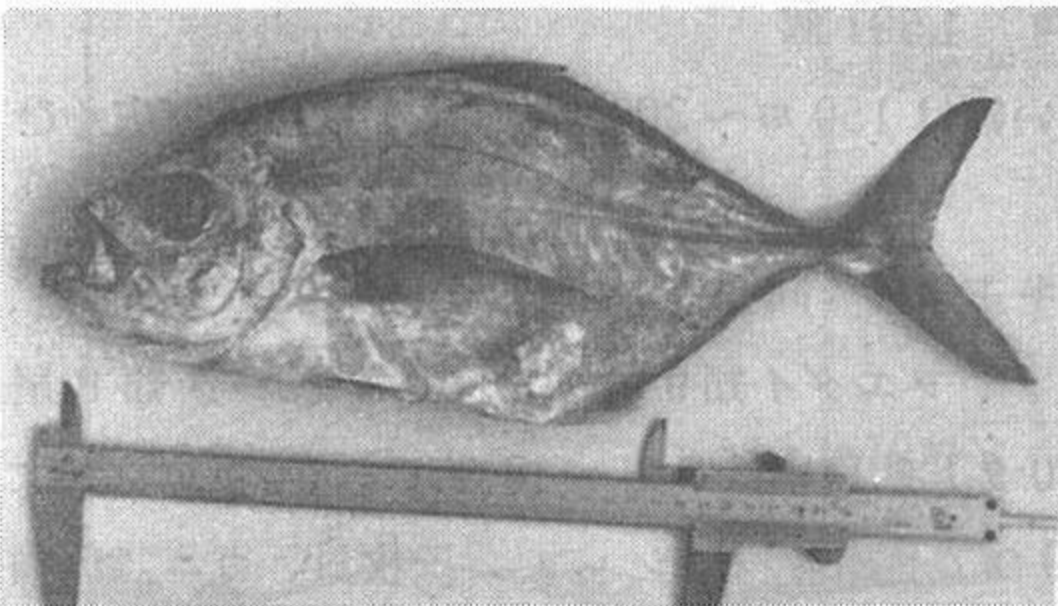
シロダイ



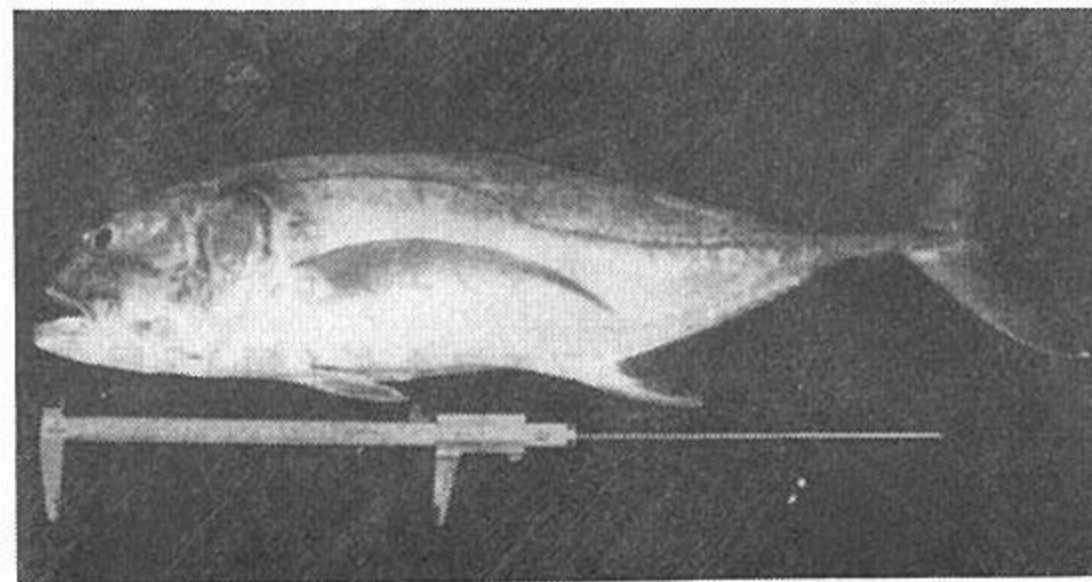
オオモンハタ



ヒブダイ



ヒラアジの仲間



ロオニンアジ